

第33回 ヨーロッパ

キリスト者の集い

主催：スイス日本語福音キリスト教会

27.-31. July 2016 Zavelstein, GERMANY

第3信 30. June 2016

テーマ：み国を待ち望む

- ・これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上へ上げなさい。贖いが近づいたのです。
- ・そのように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと知りなさい。
ルカ21：28、31

この時代に生きる私たちは、イエス・キリストがマタイ24章、ルカ21章、マルコ13章、また多くの聖句に預言された出来事への成就の過程に生かされていると言っているでしょう。全世界に紛争が拡がり、政治、経済、社会とあらゆる分野において動揺と不安が生じ、聖書に預言されている通りにイスラエル人が全世界から帰還し国家を再建し、福音が全世界に伝えられつつあります。この歴然たる事実にも拘わらず、多くのキリスト者はこの時代の”しるし”を見分けられずに生きています。今回の集いでは、このテーマを基に三つのことを追究したいと思います。

- 終わりの時代に生きる私たちはみ言葉によって、
- ・この時代のしるしに目を留め、それらを見分けることができるように。
 - ・キリストの再臨を覚え、み国を待ち望む信仰生活ができるように。
 - ・上を見上げ、霊的に励まされ、信仰が強められるように。
- 共に学びのときを持ち、キリスト者における希望と喜びを分かちあい、そして支え合いたいと願っています。

開催期間/定員

プレ大会：2016年7月27日(水) - 28日(木)
本大会：7月28日(木) - 7月31日(日)
参加予定総人員数：286名

会場/宿舎

第1宿舎 Haus Felsengrund
Weltenschwannerstr.25
D-75385 Bad Teinach-
Zavelstein, Germany
www.haus-felsengrund.de/startseite/



第2宿舎
Haus Sonnenblick
Poststrasse 25
D-75385 Bad Teinach,
Germany 集い会場より4km
www.haus-sonnenblick.info/



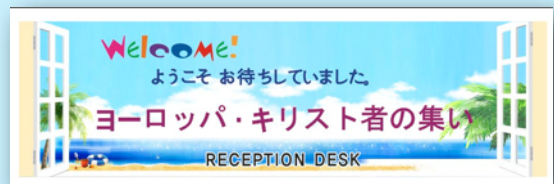
第3宿舎
Gästhaus Bethel,
Talstrasse 100
D-75378 Maisenbach,
Germany
集い会場より11km
www.zedakah.de/gaestehaus/



会場へのアクセス

空港からのチャーターバス御利用のみなさまへ

27日および28日にシュトゥットガルト空港にお着きの参加者は、第一ターミナル到着ホールに出てください。Meeting Point (Treffpunkt)で、集いの標識を持ったシュトゥットガルト日本語教会の兄弟が13時から14時までお待ちしております。そして、14時に、みなさまをチャーターバスまで誘導させていただきます。



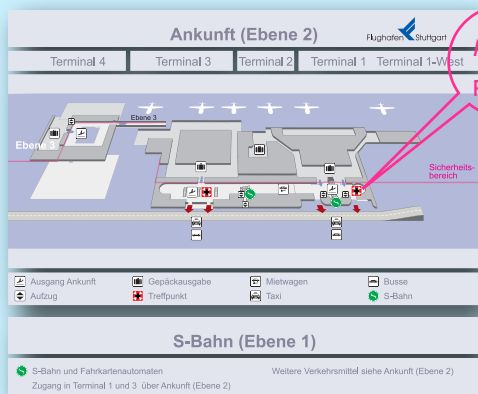
お乗りの際、片道料金(20ユーロ)を釣り銭の出ないように添乗員にお支払いください。

なんらかの連絡の必要が生じましたら
27日は、浅野康牧師 (+49 (0)1578-0483244)

28日は、今井弥寿子姉 (+49(0)1511212 5850) まで
お電話ください。下は空港案内のURLです。

[Grafik1 - uebersicht_terminals_ebene2und1.pdf](#)

なお、集い終了後のチャーターバスは、本館(Haus Felsengrund)から14時に出発し、約1時間後に空港へ到着の予定です。添乗員は付きませんので、バスにお乗りの際、料金20ユーロをお支払い下さい。



公共交通機関でお越しの参加者は

ドイツ国鉄 (DB) 御利用の参加者は、**Bad Teinach-Neubulach**までお越しください。第2信で、DBとバスとの組み合わせをお知らせしましたが、夏季休暇に入って大幅に公共交通機関の数が削減されることが判りましたので **Bad Teinach-Neubulach**駅で皆様をお迎えし、マイクロバスなどで本会場までお送りする方策を取ります。(無料)すでに他の駅までの切符を購入された方は、実行委員会までご連絡ください。また、集い終了後は、バスならびに自家用車で**Bad Teinach-Neubulach**駅までお送りします。(無料)ドイツ国鉄のHPは https://www.bahn.de/p_en/view/index.shtml ですので、こちらで時刻表や料金のインフォが得られます。(英仏サイトもあります。) ☆ 7月27日(水)は、Bad Teinach-Neubulach駅 15:00発、16:00発をお勧めします。☆ 7月28日(木)は、Bad Teinach-Neubulach駅 14:00発、15:00発をお勧めします。(とくに、Haus Sonnenblick 宿泊者は、一旦Haus Sonnenblick へ行って部屋の鍵を受け取りチェックインし、荷物を置いて、その後本会場Haus Felsengrundで 集会受付をされることをおすすめいたします。) **なお、空港バスならびに専用マイクロバスの詳しいご利用案内を作成いたしました。この第3信とともに 添付でお送りしますので、プリントアウトされてお持ちください。**

車でお越しの参加者は

www.googlemaps.com や <http://de.viamichelin.ch/web/Routenplaner>等のサイトでルートをご確認ください。ナビゲーションのご利用をお勧めします。まず、本会場のアドレスを入力ください。

Haus Felsengrund Weltenschwanerstr.25, D-75385 Bad Teinach-Zavelstein, 車でお越しの参加者の大部分は、受付を済まされたら、第2/第3 宿舎に宿泊して頂きますので、ナビをそれぞれの宿舎に設定してください。(なお、第2信でHaus Bethelの所在地が Talstrasse10となっていました、正しくは Talstrasse**100**です。お詫びして訂正させていただきます。)

ドイツ国鉄ならびに自家用車でお越しの参加者は、手続きやお部屋への荷物搬入のために時間を要しますので、なるべく早い時間帯にお着きになるようお勧めします。

会場に着いたら

本館 (HausFelsengrund)に着きましたら、玄関口ビーに設置された受付におすすみになり、手続きを済まし、しおり/名札などをお受け取りになしてください。また、3つの宿泊施設の会計は、すべて本館で行われます。現金の場合は、お釣りの出ないようにお願いします。お支払いは、現金(ユーロ)、ECカード、Maestro系のカードでお願いします。(参加者それぞれの宿泊先リストならびに各自の料金は開催約10日前までに、お知らせする予定です。)手続きを済まされた参加者は、それぞれの宿舎に向っていただき、各宿泊所でルームキーをお受け取りになしてください。

朝食は各宿泊所で、昼食と夕食は本館でとっていただきます。(ビュフェ形式) **プレ大会**: 27日(水)は18時の夕食のために本館食堂へ、**本大会**: 28日(木)は、遅くとも16時30分までに本館隣接の講演会場にお越し下さい。

第33回 ヨーロッパ・キリスト者の集いの最新情報

オフィシャル・ホームページの特設サイトにおいて、いつでもご覧いただけます。



随時、チェックされますようお勧めします。

特設サイトには、参加教会/集会の案内、展示コーナー、講義概要、各種インフォの英語版、会場へのアクセスなどの最新情報などをご覧いただけます。

第33回キリスト者の集いの特設サイト - ヨーロッパ・キリスト者の集いのオフィシャルサイト上



What you may need to know、

持参品 聖書に筆記用具、雨具、常備薬、扇子(カンファレンスルーム以外は空調設備はありません。)スリッパなど各自必要とされるもの。宿舎には、石鹸とタオルは備えられていますが、シャンプーやドライヤーはありません。水道水はお飲みいただけますが、各施設には、飲み物やスナック類が購入できるようになっています。(各自で料金箱にお支払い下さい)

WiFiは、各施設で使用できますが、玄関ホール以外では繋がりにくいところがあります。ご使用を願われる方はレセプションでパスワードをお受け取りください。

パスポートの有効期限が出国予定日から3ヶ月以上残っていることが必要ですのでご確認ください。また、旅行保険については、各自、ご確認ください。

オプションツアー参加者は、大会が終了し、昼食後の14時に観光バスが本館より出発しますので、ご注意ください。なお、ツアー料金が未払いになっている参加者は、スイスJEGの会計に所定の参加費をユーロでお支払いになってください。

そのほか、ご質問がありましたら、実行委員会までお問い合わせ下さい。

tsudoj16@gmail.com

プレ大会 27,28 July



セッション1 「私たちはどこから来たのか」 聖句 創世記 1: 26~28

セッション2 「私たちはどこへ行こうとしているのか」 聖句 ローマ書 8: 18~21

講師: 中川健一牧師

セッション2では質疑応答の時間を設けます。

ガイドツアー



マルチリンガルのウィリアム・テル(パパ)が、29日(金)の夕食後と30日(土)のコーヒブレイクの後のフリータイムに、ザーベルシュタインの可愛い街を徒歩でガイドいたします!



ここをクリック
ウィリアム・テルによるザーベルシュタイン案内

ユース/中高生

今年の中高生、ユースでは「罪」、「十字架」、「救い」について皆さんと共にもう一度じっくり考え、そして救いの確信の上に日々を生きることを学びます。そして、三日目には皆さんの一番のトピックス、恋愛についても学びたいと思います。

集会期間中は、みんなが本音で話せる場を作り出して行きたいと願っています。また、今大会では集会二日目の金曜日の夜に、賛美と証と祈りの集会 “Worship Night” を企画しています!



楽器が弾ける人、みんなの証、大募集です!どうぞ、yimamura0105@gmail.comまで気軽にご連絡下さい! 中高生、ユース企画担当、今村葉子

CS こどもプログラム

テーマ「宝物を探そう」

本大会のテーマ「御国を待ち望む」との関連から、主イエスの「神の国のたとえ」を用います。

プログラム主題聖句

「神の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、おおよろこびで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。」マタイの福音書13章44節

子供プログラムは5つのセッションから成り立ちます。

- それぞれのテーマは、
- 第一、み国って何だろう (宝物ってなんだろう)
- 第二、み国のことばを聞こう (宝物を知ろう)
- 第三、み国に入ろう (宝物を手に入れよう)
- 第四、み国を待とう (すごい宝物が、宝物を分けよう)
- 第五、み国で歩もう (宝物を守る、用いる)

29日午後には、天気が良ければ屋外で宝探しを行います。



賛美の夕べ

7月30日(土)の“賛美の夕べ”では、ヘンデル作曲のメサイアより『ハレルヤコーラス(日本語版)』を賛美することとなりました。そこで一緒に賛美する聖歌隊を、追加募集致します。

練習は7月29日(金)17時からと、30日(土)15時からの2回を予定しています。

参加ご希望の方は、希望の声部をお書きのうえ、大会本部(tsudoil6@gmail.com)までご連絡ください。

また楽譜は、<https://dl.dropboxusercontent.com/u/88436545/halleluia.pdf>よりダウンロードしてお持ちください。(日本語での賛美となります)

尚、事前に奉仕希望を出してくださった方で、まだ賛美チームよりの連絡がない方はご一報ください。皆様のご参加をお待ちしています!



託児係から



1、託児係としてご奉仕される兄弟姉は、プログラム開始10分前に託児室に集合してください。

2、託児室へお子様を預けられる方は、(必要な場合)飲み物・食べ物・オムツ等を持参してください。プログラムの終了予定時刻には時間を必ず守って、お子様を迎えに来てくださるようお願いいたします。

講演概要



第一講演 矢吹博牧師 (フランクフルト日本語福音キリスト教会)

青年は幻を見、老人は夢を見る～終わりの日を生きる神の民～

使徒の働き2章14-21節

ペンテコステの聖霊降臨の出来事は終わりの日の始まりである。終わりの日を生きる教会は、時のしるしを見分けるために、聖霊に教えられて神のことばを聴く。そして、「主の名を呼ぶ者は、みな救われる」という希望の福音を、聖霊の助けによって力強く語り続ける。ペテロの説教の序文から「み国を待ち望む」者の在り方をともに聴きたい。

第二講演 内村伸之牧師 (ミラノ賛美教会)

主の祈り「御国が来ますように。」

ルカ11章1-4節

「主の祈り」心臓部は「御国を来たせたまえ」ということばです。これはどういう意味なのでしょう？多くの人々はキリスト教が教えている希望とは、人がこの地上での生涯を終えたら、その靈魂は肉体を離れて「天国」に行き、そこで神とともに永遠に暮らすことであると考えます。しかし、これは聖書の教えている最終的な希望ではありません。聖書が記している、私たちの希望について、主の祈りを繙きながら明らかにしていきます。



第三講演 安藤廣之牧師 (ミュンヘン日本語キリスト教会)

主人の約束

マタイ20:1-16

皆さん良くご存知と思いますがマタイ伝20章にある、異なった時刻に雇われたにも拘らず報酬が同じであったぶどう園の例え話から、特に私達が待ち望む御国の価値観についてご一緒に考えられたらと願っています。私達は早朝から働いて報いを受けて当然の者なののでしょうか、それとも夕方5時から僅かしか働かなかったのに一日分の報酬を受けた果報者なののでしょうか。



第四講演 川井勝太郎宣教師 (ルーマニア・トランシルバニア集会)

携挙・再臨と最後の神殿

1コリント3:6-23

- 1、信仰者の歩みの故に起こる受動的出来事としての携挙：テサロニケ4:13-18、1コリント15:50-54
- 2、キリストの神の側からの介入としての再臨 黙示録19:11-16
- 3、最後の神殿についての考察、それまでの神殿の形：モーセの幕屋、ダビデの幕屋、ソロモンの神殿、ヘロデの神殿。しかし、聖書の最後で私達が見る神殿の形とは。



主日礼拝 マイヤー・マルチン牧師 (スイス日本語福音キリスト教会)

み国の実現

黙示録 19:11-16

主イエス・キリストの再臨について新旧約聖書には、多くの預言や聖句が書かれています。しかし、まとまった箇所はこの黙示録19章にしかないと言っても良いでしょう。この箇所では、イエス・キリストの勝利、栄光また、裁き主としての権限に注目しています。特に教えられるのは、1. キリストの再臨の時の7つのしるし。2. キリストの再臨の時の4つの名前。3. キリストの教会の待望と栄光。についてです。「み国を待ち望む」と言う教会の霊的態度は、主イエス・キリストの再臨を待ち望むものでなければなりません。日常生活への適用と再臨待望の信仰生活の関係についてこの箇所から学びましょう。





特別講演 中川健一牧師 (ハーベスト・タイム・ミニストリーズ代表)

「千年王国説の歴史の変遷」

終末論に関しては、あまりにも多くの見解があるため、戸惑いを覚えるというのが正直な感想ではないでしょうか。そこで今回は、以下の点を取り上げるつもりです。

1. 千年期前再臨説、千年期後再臨説、無千年王国説の内容の解説
2. 各説の歴史の変遷
3. 各説の聖書的吟味

**SESSION in English on Fri. & Sat.
by Dr. Daisuke Okada**



The year 2017 is an important year for all true believers of Jesus Christ, since it marks the 500th year of the Protestant Reformation. God used men who were convicted,

convinced, and converted by the true Gospel of Jesus Christ to recover Christian faith. As we stand 499 years later, the Protestant churches today are having an identity crisis. Various waves of socio-cultural pressures and doctrinal confusions have caused many churches to lose sight of the truth of the Gospel. The foundation upon which the Protestantism is built upon is being shaken right in front of our eyes.

Therefore, it is imperative for all true believers to stand firm on the truth of the Gospel and to live in light of this Gospel truth. To do so, there is no better place than to look at the passages that changed the life of a man who was perhaps most influential for the reformation. In our first session, we will examine closely the declarations of Paul's confidence in the Gospel from Romans 1:16-17. These verses brought the Reformers to the realization and reclamation of the



Gospel truth. These verses tell us why Paul and many other faithful men and women spent their lives suffering for the sake of the Gospel. Our goal and desire is to see ourselves being confident and committed to this timeless and wonderful Gospel with complete confidence as we carefully understand the words of Paul.

In our second session, we will look at Romans 8:26-39, which in a conclusion of the first section of the Book of Romans. After explaining in details about the Gospel truth in the previous chapters, Paul provided his readers three unparalleled reasons why believers' glory is completely secured. For those who believe in Jesus, the truths contained in these verses are worth so much more than any earthly treasures. It reveals the work of the Triune God in the lives of the believers, produces confidence in our future, and provides biblical perspective for the present life. Understanding this wonderful section of the Scripture will certainly change the way you view and live your lives.

Pararell to the main sessions on Friday and Saturday morning, two Bible studies with Dr. Daisuke Okada will be held for Non-Japanese speaking people. (Their will be no translation for the main sessions on Friday and Saturday mornings.)

代表者会議

7月29日(金)の19時半から21時まで代表者会議が開かれます。各教会/集いの代表者はお出席をお願いします。なお、代表者会議における議題は7月15日までに実行委員会までお送り下さい。

集いの開催まであと3週間余りとなりました。ここに第3信をお届けする幸いに感謝します。近年減少が著しかった、教会の将来を担うであろう若者や子供達の参加を促すために、今回、実行委員会では様々な方策を立てました。その結果、期待以上の若者と子供達を迎えることとなり感謝です。本館の2階に中高生/ユースフロアを設け、そこにリーダーと中高生/ユースを集めました。皆様のご理解とお祈りが非常に大切になります。ユースへの、みなさまの愛ある温かい目くばりが求められます。どうかよろしくお祈りをお願いします。

まだ解決すべき課題は少なからず残されていますが、実行委員会一同、上からの知恵を頂きつつつと心を合わせて解決し、愛と思いやり、霊に満ちた"集い"を開催することによって、主に栄光を帰したいと願っています。兄弟姉妹のお祈りとご支援を切にお願い申し上げます。

第33回 ヨーロッパ・キリスト者の集い

主催：スイス日本語福音キリスト教会

実行委員長：松林幸二郎

副委員長：原 憲二

牧師：マイヤー・マルチン

tsudoil6@gmail.com

(緊急連絡電話番号：+49) 0152 2476 3844)

